



# ラッキーナスビ2.5



## 聞く・聴く・訊く・効く!!

### 相手と一緒に

### 伸びていく

#### ぎくぎくの上昇スパイラル!!

新年を迎え、学校が再開しました。新年一発目の全校集会で山下校長先生は「聞く・聴く・訊く・効く」というお話をしました。この4つの「ぎく」は、相手と一緒に成長していくための秘訣です。

「聞く」から「聴く」へ。音として聞きとるのではなく、相手の伝えようとしていることを、言葉や表情、しぐさなどから聴きとろうとすることで、相手のことをよりよく理解することができるようになります。

「聴く」から「訊く」へ。聴き取ることができると、今度は疑問や興味・関心が湧いてきます。「どうしてなんだろう?」「もっと知りたい」という

想いが生まれてきます。相手とのやりとりが生まれます。

「訊く」から「効く」へ。相手とのやりとりを通して、自分の成長へとつながっていきます。



このスパイラルが上昇していくにしたがって実現していくこと。それは、「相手と一緒に成長していくこと」です。このスパイラルを、話し手の側から捉え直してみましょう。

聞き手に対しては「音声を発すればいいや」「言えばいいや」というモチベーションです。

聞き手に対しては「もっと分かりやすく伝えたい」「わかかってほしい」というモチベーションです。

訊き手に対しては「一緒に考えて考えてみたい」というモチベーションであり、「新しい気づきをくれてありがとう」という感謝の気持ちが生まれます。

効き手に対しては「この人と一緒に、刺激し合いながら成長しよう」という、とてつもなく高いモチベーションです。せっかかくコミュニケーションをとるのです。お互いが「効き手」となるようなコミュニケーションを目指しましょう。

### 相手が「効き手」だから、自分も「効き手」になれる。

#### どこでも使える

#### 「考え方」を大切に。

山下校長先生のお話は、どこでも使える「考え方」や「行動のしかた」につながっていくものでした。こんな「ナスビの売り方」として整理することもできるでしょう。

誰かが話し始めたときに、「まずは聞き手、次に訊き手、そして効き手になろう」という考え方をもち、行動にうつしていくことで、話し手とともに成長していくことができるようになるだろう。これこそが「お互いに協力しながら真理を探究する」ことにつながっていく!



これから生きていくなかで、私たちが最も多くとる行動が「はなす」と「きく」でしょう。だからこそ、今回の全校集会で手に入れた「ナスビの売り方」を習慣にすることができれば、生涯を通じて学び続けること、成長を続けることができるのかもしれない。

まずは日常生活のなかで、普段の授業のなかで取り組むことから始めてみませんか?

今年も「キャリア教育通信@ナスビ通信」をよろしくお願いたします。生徒たちの「生き方」や「キャリアづくり」を豊かにするという視点から、日常にあるいろんなラッキーチャンスを見つけていきます。どうぞよろしくお願いたします。